

論文 / 著書情報  
Article / Book Information

題目(和文)	建築家・内田祥三の初期都市計画に関する研究 - 都市計画の実現に向けた技術の成立過程 -
Title(English)	
著者(和文)	中川嵩章
Author(English)	Takaaki Nakagawa
出典(和文)	学位:博士(工学), 学位授与機関:東京工業大学, 報告番号:甲第12468号, 授与年月日:2023年3月26日, 学位の種別:課程博士, 審査員:真田 純子,中井 検裕,齋藤 潮,真野 洋介,藤田 康仁,出村 嘉史
Citation(English)	Degree:Doctor (Engineering), Conferring organization: Tokyo Institute of Technology, Report number:甲第12468号, Conferred date:2023/3/26, Degree Type:Course doctor, Examiner:,,,,,
学位種別(和文)	博士論文
Category(English)	Doctoral Thesis
種別(和文)	論文要旨
Type(English)	Summary

## 論文要旨

THESIS SUMMARY

系・コース： Department of Graduate major in	土木・環境工学 都市・環境学	系 コース	申請学位(専攻分野)： Academic Degree Requested	博士 Doctor of	(工学)
学生氏名： Student's Name	中川 嵩章		指導教員(主)： Academic Supervisor(main)	真田 純子	
			指導教員(副)： Academic Supervisor(sub)		

### 要旨(和文 2000 字程度)

Thesis Summary (approx.2000 Japanese Characters)

建築家・内田祥三(1885-1972)は、都市計画の基本法制的構想ではなく、運用を具体化する役割を担った人物である。本研究は次の三点を目的とし、法定都市計画の成立期に、個々の事業を実施していく「推進力」がいかに検討されてきたかを分析した。目的Ⅰ)内田祥三による関東大震災前の田園都市計画と大阪北港株式会社経営地計画について、作成過程及び内容を明らかにする(第4章・第6章)。目的Ⅱ)Ⅰの計画を実現するための検討過程及び内容を明らかにする(第5章・第7章・第8章)。目的Ⅲ)都市計画の実現に向けた技術の成立過程及び内容を明らかにする(第9章)。研究の方法は、文献調査とし、内田祥三関係資料所収の一連の図面や資料、これらが参照している国内外の資料、その他に当時の新聞・雑誌記事などの対応関係、時期関係を整理して読み解いた。

事例分析に先立って、まず第2章では、都市開発事業の史的潮流を概観した。住宅不足の社会問題と、土地会社による郊外住宅地開発を背景として、住宅会社法では、旧都市計画法「一団地ノ住宅経営」を開発する事業の制度化が試みられた。内田祥三は、建築家である福田重義、佐野利器らと立場が近く、「個々の施設の配置」と「施設を建設する財政」を具体的に検討する視点があったと考えられる。

次に第3章では、内田祥三の人物史を通観するとともに、都市計画観の大枠を把握した。内田祥三にとって都市計画の意義は、都市の膨張を抑制することではなく、住宅、交通機関、公園、運動場などの個々の施設を整えることであった。その際には、周囲の地域の中で施設を位置づけて、規格を変える視点があった。

第1部では、田園都市計画を対象とし、第4章では、その作成過程と施設配置を明らかにした。内田祥三は、住宅会社法を検討していた都市研究会の依頼によって、1919(大正8)年9月に計画の作成に着手し、初期構想の図面に対して、敷地を割り当て、建築物を描きながら、道路、公園、公共施設などの配置を調整した。さらに、シビック・センターを中心とする計画敷地、公園と小学校を中心とする住区、敷地裏のオープンスペースを中心とする住宅群というように、段階的なスケールでの施設のまとまりを創出していた。

続いて第5章では、田園都市計画の事業化方法の特徴と、海外の田園都市との関係を明らかにした。広域の施設配置の特徴としては、地価が安い郊外の土地を購入し、既存の交通に連絡することで、都心への通勤を想定していた。財政の仕組みの特徴としては、インフラと住宅を同時に開発し、土地及び家屋を分譲する流れであったため、土地を公有して、余剰利益をまちに還元するという、本来の田園都市とは異なる仕組みであった。この相違点をもたらした要因は、分譲方式を採って確実に回収可能な金額を確保することによって、民間の資本家に向けて不動産経営として収支が成り立つことを立証し宣伝する目的があったためと考察された。

第2部では、内田祥三が1920(大正9)年12月に作成依頼を受けた大阪北港株式会社経営地計画を対象とし、第6章では、個々の施設とその集合体に対する内田祥三の考えを明らかにした。内田祥三は、住宅数に対する商店数の割合や、1人当たりの公園と広場の面積など、物的な量を計算することによって、各用途の施設のバランスをとっていた。そして、道路、公園、広場の規格を細かに分類して、別々の役割を付与し、周囲の住宅地や商業地の性質を考慮して配置を調整していた。

続いて第7章では、官民連携による大阪北港開発事業の成立背景を明らかにした。大阪北港株式会社と大阪市が連携して北港の開発をおこなう方針は、大阪市臨時港湾調査会で1913(大正2)年4月には既に合意に達していたため、内田祥三の役割は、「個々の施設の配置」を具体的に示して、実現の見通しを立てることであった。

第3部では、第1部、第2部で特徴としてみられた道路沿いの商店を建設する制度である路線的商業地域を対象とし、第8章では、内田祥三の計画思想と、東京の地域指定案作成過程における性質を明らかにした。内田祥三には住民の利便性を目的とした計画思想があった一方で、その後の東京地域指定案においては、街路の体裁を整える、土地の経済的な利用を促進するといった観点から、沿道への民間開発の誘導を狙った規制緩和として、路線的商業地域が用いられたと考えられる。

各事例分析から得られた知見をまとめて構造化することで、第9章では、都市計画の実現に向けた技術の成立過程及び内容を明らかにした。内田祥三は、「個々の施設の配置」の観点においては、周囲の地域の中で施設を位置づけながら、相互にバランスをとってインテグレートする技術、「施設を建設する財政」の観点においては、民間による開発を取り入れる技術を考案していた。建築の専門を活かした技術によって、施設配置をビジュアル化するとともに、物的な量や経費を具体的に計算して、都市計画の実現に向けた過程を重視していた。三つの事例の展開を俯瞰すると、内田祥三による精度の高い「個々の施設の配置」と、民間を活用・誘導した「施設を建設する財政」、さらに、これらに基づいた制度化の検討が、同時並行で、相互に補完した関係がみられ、ここに「計画力」と「推進力」を兼ね備えた都市計画に到達する可能性を見出すことができた。

備考：論文要旨は、和文 2000 字と英文 300 語を 1 部ずつ提出するか、もしくは英文 800 語を 1 部提出してください。

Note : Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東工大リサーチリポジトリ (T2R2) にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。

Attention: Thesis Summary will be published on Tokyo Tech Research Repository Website (T2R2).

(博士課程)  
Doctoral Program

## 論文要旨

THESIS SUMMARY

系・コース： 土木・環境工学 系  
Department of Graduate major in 都市・環境学 コース  
学生氏名： 中川 嵩章  
Student's Name

申請学位(専攻分野)： 博士 (工学)  
Academic Degree Requested Doctor of  
指導教員(主)： 真田 純子  
Academic Supervisor(main)  
指導教員(副)：  
Academic Supervisor(sub)

要旨(英文300語程度)

Thesis Summary (approx.300 English Words)

Yoshikazu Uchida (1885-1972) was a Japanese architect who embodied the implementation of urban planning. This study had the following three objectives and analyzed how the driving force for implementing each project was considered during the period when urban planning was legislated in Japan. Objective I) To clarify the making process and contents of the garden city plan and the estate development plan of Osaka Hokko Co. Ltd. by Yoshikazu Uchida before the Great Kanto Earthquake (Chapters 4, and 6). Objective II) To clarify the study process and contents to realize the plans mentioned above (Chapters 5, 7, and 8). Objective III) To clarify the formation process and contents of the techniques to realize the urban planning (Chapter 9). The study consisted of three parts, with the addition of commercial districts of linear shape to the above two plans. The research method was a literature survey. A series of drawings, domestic and international documents, as well as newspaper and magazine articles, were analyzed in correspondence with each other. As a result of the analysis, Yoshikazu Uchida developed a technique for integrating and balancing each other while positioning facilities within the surrounding areas in terms of the facilities layout, and a technique for incorporating a private sector development in terms of the finances to build the facilities. Through those techniques utilizing his expertise in architecture, he visualized the layout of facilities and made concrete calculations of physical quantities and expenses, focusing on the process of realizing the plans. Moreover, there was a simultaneous and complementary relationship between the precise arrangement of facilities by Yoshikazu Uchida, the finances to build facilities that utilized and induced the private sector, and the study of legalization based on the above. Thus, the potential for urban planning that combines the power to plan and to drive was demonstrated.

備考：論文要旨は、和文2000字と英文300語を1部ずつ提出するか、もしくは英文800語を1部提出してください。

Note: Thesis Summary should be submitted in either a copy of 2000 Japanese Characters and 300 Words (English) or 1 copy of 800 Words (English).

注意：論文要旨は、東工大リサーチリポジトリ(T2R2)にてインターネット公表されますので、公表可能な範囲の内容で作成してください。

Attention: Thesis Summary will be published on Tokyo Tech Research Repository Website (T2R2).